授業科目	＊人文学入門					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	八尋　春海、Malcolm　Ross　Swanson、塚本　美紀、Kristen Maree Sullivan、Andrew　Zitzmann、神崎　明坤、林　　裕二、劉　明						
授業概要	人文学とはどういうものか、人文学部で学ぶ意味は何か、人文学部両学科で具体的にどういう事柄を学ぶのか、キャリア形成とはどういうことかなど、4 年間の学びの土台となることを学び考える授業です。本学の建学の精神である「感恩奉仕」が各授業の基盤となります。授業計画の「進行」で、担当者の回が変更になることもあります。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1　人文学とはどのような学問かを理解する。 2　人文学を学ぶ意義を理解する。 3　自らのキャリアデザインへの意識をもつ。 人文学の基本的な知識を身につけ、それを自分の学びへの意識向上につなげることができる。
理想的レベル	人文学の基本的な知識をよく理解し、学部・学科で学ぶ上での様々な問題を考えるときに応用することができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	90%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	10%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	EN10402J T010402J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
復習：当該部分の復習	4

授業計画	
第 1 回	人文学の現状を学ぶ（塚本）
第 2 回	人文学の取り組み方を学ぶ（神崎）
第 3 回	人文学の魅力を学ぶ（サリバン）
第 4 回	人文学の特徴を学ぶ（林）
第 5 回	人文学の諸相を学ぶ（ジッツマン）
第 6 回	人文学の基礎を学ぶ（八尋）
第 7 回	人文学への多面性を学ぶ（スワンソン）

第 8 回	人文学の可能性を学ぶ（劉）
テキスト	指定なし。　添付資料を配付予定。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に随時提示される予定。
課題に対するフィードバックの方法	3 回以上の欠席は、単位認定資格を失います。 8 回の授業の全てで、授業時間内のレポートの提出が求められます。 「達成度評価」の 10%は、授業貢献度（質問等をどれくらいしたか）です。
学生へのメッセージ・コメント	人文学部両学科での学びの土台となる内容ですので、積極的な取り組みの姿勢が必要です。 人文学部の学生にとって、知識を得たり考えたりするうえで、読書は基本になるので、読書の習慣をつけましょう。